

日本ハンドボールリーグ代表理事選定要件

1. ハンドボール、スポーツの本質を理解し、伝えられること

日本国内におけるスポーツ政策の重要性や日本ハンドボールリーグが担う役割について、自らがもつ知識や見識に基づき、その本質を高められる。

2. プロフェッショナル（ハンドボール競技、財務、マーケティング、ガバナンス）

日本ハンドボール界の発展、拡大について、競技そのものや財務・マーケティング、内部統制・ガバナンスに関して、日本ハンドボールリーグに必要なものを提供し、そして構築できる。

3. 繙続性

ハンドボールの歴史や組織を理解し、過去から作り上げてきたもの（有形、無形問わず）のなかで、将来に渡っても継承していくもの、進化させなければいけないものを理解し、未来に何を残すかを見極められる。

4. 検証・改革

日本ハンドボールリーグを成長・拡大させる過程において、今の組織の課題を表面化させ、その改革（将来/未来をよくする）方法や方向性、変化するニーズに向き合い、改革の方向性や行動の指針を、協会会長とともに協議検証して進むことができる。

代表理事候補者評価基準

評価項目

1.	規程要件	一般社団・財団法人法および関係法令法規に定める要件を満たしている
2.		将来構想の策定やスポーツリーグの経営に対する深い見識を有し、それらの推進に相応しい人格を有する
3.		企業経営全般、法律、会計、財務、スポーツ分野において専門的な知識や経験を有している
4.	経歴	スポーツリーグ及びNFでの事務局での従事経験を有している
5.		法人（一般企業、スポーツ団体等）での役員経験を有している。
6.	実務経験	人事・採用・人材開発、マネジメントに関わる業務への従事経験や知識を有している
7.		プロスポーツ興行の企画立案経験を有している。
8.		事業計画・予算計画策定の経験を有している
9.	業務知識	事業戦略立案、中期経営計画、財務計画立案の知識を有している
10.		海外リレーション（国際関連業務）に関する知識を有している
11.		企業法務や実務に関する知識を有している。
12.	競技面	ハンドボール選手経験
13.		ハンドボールチームの運営経験
14.		ハンドボールに対する理解、造旨を有する
15.	経営者	協会・リーグでの代表者（会長、代表理事、チアマン）の経験
16.		企業代表者の経験

◎：十分に経験があると認められる、○：経験があることが資料で確認できる、▲：経験があることをヒアリングで確認した、－：該当なし